資料２

名豊病院　病床機能区分変更について

名豊病院では post acute 機能として急性期医療を受けた患者の早期受け入れと、sub acute 機能として近隣医療機関、介護保険施設および在宅より高齢者の一般的な疾患（肺炎、誤嚥性肺炎、圧迫骨折、骨折等）の入院と透析患者の受け入れを積極的に行って参りました。主として上記の患者を受け入れる２階および４階病棟の入院料は【表１】のとおりです。患者層と入院機能から病床機能は回復期機能に相当すると判断し、【表２】のとおり病床機能を変更したく存じます。なお今回、合わせて増床を計画しております。

また、【表３】のとおり、2023 年の病床機能報告では 2025 年の必要病床数と比べると高度急性期、急性期、慢性期機能の病床数が過剰で、回復期機能の病床が大きく不足していることから、名豊病院における今回の病床機能変更は西三河北部構想区域において適当と考えます。

【表１】病床機能変更病棟の入院料

病棟	入院料	変更前　→　変更後
2 階病棟 50 床	地域包括ケア病棟	慢性期　→　回復期
4 階病棟 50 床	地域一般入院料 3	急性期　→　回復期

【表２】各病床機能の病床数

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
変更前※		50 床	50 床	150 床	250 床
変更後 (増床計画後)			150 床 (159 床)	100 床 (112 床)	250 床 (271 床)
増減 (増床計画後)		▲50 床	＋100 床 (+109 床)	▲50 床 (▲38 床)	±0 床 (＋21 床)

※病床機能報告と地域医療構想推進委員会で承認された機能と相違があったため、地域医療構想推進委員会にて承認された機能の病床数を記入

【表３】愛知県地域医療構想における当該構想区域の現状

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
2023 年 7 月 1 日時点	435 床	1444 床	477 床	588 床	8 床	2952 床
2025 年における必要病床数	368 床	1128 床	990 床	578 床		3064 床
差	67 床　過剰	316 床　過剰	513 床　不足	10 床　過剰	―	―

【参考】当該構想区域における 2025 年度の予定（増床計画分含まない）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
2025 年における必要病床数	368 床	1128 床	990 床	578 床		3064 床
2025 年の予定数	417 床	1364 床	592 床	538 床	8 床	2919 床
増減	49 床　過剰	236 床　過剰	398 床　不足	40 床　不足	―	―

以上